

ごあいさつ

－ 『司法書士のための法教育・消費者市民教育ハンドブック 追補版』の公表にあたって －

全国の司法書士のみなさま

このたび、司法書士法教育ネットワーク（以下「当ネットワーク」といいます）は、『司法書士のための法教育・消費者市民教育ハンドブック 追補版』（以下「ハンドブック追補版」といいます）を公表する運びとなりました。

全国のとりのわけ法教育にかかわっておられる司法書士のみなさま、法教育に関心をお持ちの司法書士のみなさまには、ぜひともご一読いただき、みなさまの法教育活動の一助としていただききたいと思っております。また司法書士以外のみなさまにとっても、参考になる情報が詰まっていると自負しております。ぜひともご活用いただききたいと思っております。

さてこのハンドブック追補版は日本司法書士会連合会（以下「日司連」といいます）が2015（平成27）年3月10日に発行した「司法書士のための法教育・消費者市民教育ハンドブック」（当ネットワーク編著）（以下「オリジナル版ハンドブック」といいます）の追補版として全国の司法書士のみなさまにお届けするものです。オリジナル版ハンドブックは2015（平成27）年に日司連より全国の司法書士に配布され、その後も新人研修の折に配布されてきたとうかがっております。また、本年5月30日には、日司連の会員専用サイト「日司連ネット」の「サイト内クリップ」にオリジナル版ハンドブックのPDFデータが掲載されましたので、ほとんどの司法書士が一度は目にしたことがあるのではないのでしょうか。

オリジナル版ハンドブックが発行された2015（平成27）年以降、学校を取り巻く状況は大きく変化してきました。2016年6月の改正公職選挙法施行により18歳以上の者が選挙に参加できることとなり、2022年4月の改正民法施行により成年年齢が20歳から18歳に引き下げられました。学習指導要領が改訂され、それに伴って教科書も新しくなりました。またコロナ禍を契機として、教育のオンライン化の流れが一気に加速しました。

このような変化を受けて、日司連より、これらの変化に対応したハンドブックの続編が必要とのお声かけをいただき、当ネットワークは2022年6月3日、日司連との間で覚書を締結してこのハンドブック追補版の著作、編集を担当することとなり、2023年3月23日に（一部最新の情報を加味した差し替え版を4月3日に）完成原稿の全部を日司連に納品いたしました。尽力くださった執筆者のみなさま、編集委員のみなさまにはこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

その後の日司連との協議の結果、今般、このハンドブック追補版を当ネットワークの公式サイトにて公表する運びとなりました。全国の司法書士のみなさまにおかれましては、このハンドブック追補版を、オリジナル版ハンドブックとあわせてぜひともご活用いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

2023年10月14日

司法書士法教育ネットワーク
会 長 前 田 道 利